

宮城県考古学会連絡紙

第75号

2019年4月20日発行

〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1

東北大学大学院文学研究科考古学研究室気付 宮城県考古学会事務局

2019年度宮城県考古学会総会・研究発表会 特集「東北部の中期古墳を考える」

2019年度宮城県考古学会総会・研究発表会を以下の日程・内容で開催いたしますので、皆様ぜひご参集ください。

日時:5月11日(土)10:00~17:00

場所:東北学院大学土樋キャンパス ホーイ記念館地階

※会場に駐車場がございませんので、公共交通機関でご来場ください。

参加費・資料代:無料

主催:宮城県考古学会

趣旨:宮城県内の大学の考古学研究室には長い研究の歴史があり、広い視点のもと最新の研究が実践されています。今年度は大学で行われている最新の調査研究について話題提供をしていただき、その成果と課題について皆様と共有したいと考え、「東北部の中期古墳を考える」と題して特集を開催することといたしました。東北学院大学セミナーでは平成23年度から灰塚山古墳(福島県喜多方市)の実態を解明するための発掘調査が行われ、中期古墳を考える上で貴重な成果が得られました。灰塚山古墳の概要と東北部の中期古墳との比較、灰塚山古墳で確認された人骨を含めて東北部で確認された人骨などについて考えてみたいと思います。

日程

【総会】 9:30~ 受付

10:00~10:50 総会

(対象:宮城県考古学会会員)

- (1)議案第1号 2018年度の事業報告について
- (2)議案第2号 2018年度収支決算報告
- (3)議案第3号 細則の一部改正(案)について
- (4)議案第4号 東日本大震災復興調査成果の活用に関する委員会設立準備について
- (5)議案第5号 2019年度の事業計画(案)について
- (6)議案第6号 2019年度収支予算(案)
- (7)その他

【研究発表会】

○研究発表

11:00~11:30 「9世紀後半の須恵器坏における技術変化
-「コテ状工具」に関する実験的研究-」
館内魁生氏(東北大学大学院文学研究科)

○特集『東北部の中期古墳を考える』

11:30~11:35 特集趣旨説明 宮城県考古学会企画幹事

11:35~12:05 基調講演「福島県喜多方市灰塚山古墳の発掘調査成果」辻 秀人氏(東北学院大学)

12:05~13:10 昼食・遺物展示

13:10~13:30 報告「灰塚山古墳出土土壜の意味」
相川ひとみ氏(仙台市教育委員会)

13:30~13:50 報告「灰塚山古墳出土分離式神獸鏡について」
鈴木舞香氏(名取市教育委員会)

13:50~14:10 報告「灰塚山古墳棺外副葬について」
横山 舞氏(東北学院大学大学院)

14:10~14:30 報告「灰塚山古墳出土箱式石棺の構造」
高橋伶奈氏(東北学院大学大学院)

14:30~14:40 休憩・遺物展示

14:40~15:10 研究報告「東北の中期古墳の埋葬施設と副葬品」
菊地芳朗氏(福島大学)

15:10~15:40 研究報告「東北地方中期古墳の特質」
藤澤 敦氏(東北大学総合学術博物館)

15:40~16:10 研究報告「東北地方古墳出土人骨の特徴」
奈良貴史氏(新潟医療福祉大学)

16:10~16:20 休憩・遺物展示

16:20~16:50 意見交換

(司会:宮城県考古学会 古川一明氏)

16:50~17:00 閉会行事

【懇親・交流会】皆様のご参加をお待ちしております。

時間:18:00~

会場:御酒印船仙台店

会費:一般5,000円、学生4,000円

申し込み:参加を希望される方は、5月6日(月)までに下記の連絡先に氏名と連絡先を明記の上、お申し込み下さい。

[連絡先]

宮城県考古学会 企画幹事会 安達訓仁

E-mail:info@m-kouko.net

役員会の動向

【第4回 1月27日(日)】

東北大学埋蔵文化財調査室

主な議題

①遺跡調査成果発表会の総括、②2019年度総会・大会。そのほか、各幹事会からの報告があった。以下同様。

【第5回 3月24日(日)】

東北大学埋蔵文化財調査室

主な議題

①2019年度総会・大会、②規定の整備、③「大地からの伝言」等活用研究部会からの提案、④顧問の委嘱。

【第6回 4月21日(日)】開催予定

博物館等イベント情報

【東北大学付属図書館本館】

●新入生歓迎展示「川内歴史さんぽ～縄文、仙台城、そして東北大へ～」

〔会期〕5月6日(月)まで

〔開館時間〕平日8:00～22:00/土日祝10:00～22:00

〔観覧料金〕無料

【東北歴史博物館】

●東京藝術大学スーパークローン文化財展「最先端技術でよみがえるシルクロード―法隆寺・敦煌莫高窟・パーミヤナー―」

〔会期〕6月23日(日)まで

〔開館時間〕9:30～17:00(発券は16:30まで)

〔休館日〕毎週月曜日(4月29日(月・祝)、5月6日(月・祝)は開館、5月7日(火)休館)

〔観覧料金〕一般1,200円(1,100円) シルバー(65歳以上)1,100円(1,000円) 小・中・高校生600円(500円)

※かつこ内は20名様以上の団体

【仙台市地底の森ミュージアム】

●企画展「仙台の遺跡めぐり 古代びとの道具箱」

〔会期〕6月16日(日)まで

〔開館時間〕9:00～16:45(入館は16:15まで)

〔休館日〕月曜日・祝日の翌日・年末年始

〔観覧料金〕一般460円、高校生230円、小中学生110円

【仙台縄文の森広場】

●イベント「縄文春まつり」

〔開催日〕5月11日(土)10:00～15:00

〔参加料〕無料(※入館料は別途かかります)

土器の野焼き、弓矢の体験、縄文ファッション、春のコンサートタイム、七ヶ浜町歴史資料館の特別コーナーもあります。

【奥松島縄文村歴史資料館】

〔開館時間〕9:00～16:30

〔休館日〕水曜日・年末年始

〔観覧料金〕一般400円、高校生300円、小中学生150円

●GW企画「縄文体験・体感WEEK!」

〔開催日〕4月27日(土)～4月30日(火)、

5月3日(金)～5月6日(月)

※4月28日・5月5日は、入館・体験がどなたも無料「縄文」を楽しむスペシャルウィーク。日替わり体験のほか、里浜貝塚ガイドツアーを開催。

出版物情報

『古代東北の地域像と城柵』(高志書院、3月15日刊行)
熊谷公男 編 A5判 340ページ 定価7,500円(税別)

会誌「宮城考古学」への投稿案内:原稿募集中です!

会誌『宮城考古学』第22号(2020年5月発行予定)への投稿を募集しています。

投稿は事務局からの依頼原稿を除き、原則として宮城県考古学会会員に限ります。共著の場合は著者のうち1人は宮城県考古学会会員であることを条件とします。

原稿締め切りは2020年1月31日です。投稿希望の方は2019年11月30日までに、予定頁数や概要などを下記のアドレスまでお知らせください。

〈書式〉

①A4判横組(縦297mm×横210mm)。版面は縦233mm×166mm。単色刷り。

②本文は10.5ポイント・明朝体で横書き・45字×35行。註・引用文献は9ポイント・明朝体で横書き・47字×48行。ヘッダやフッタなどは記載しないでください。

〈原稿の種類〉

①論文:本文、挿図、写真、表などを含め、18頁以内。

②研究ノート:試論、予察、着想などの短論文。12頁以内。

③報告・速報:注目される発掘調査の報告や測量調査など。8頁以内。

④資料紹介:8頁以内。

〈その他〉

抜刷部数は最大100部(進呈30部を含む)。

〈連絡先〉宮城県考古学会会誌幹事会 代表 古田 和誠

E-mail: miyagikougaku_kaishi@yahoo.co.jp

情報・寄稿などをお寄せ下さい!!

考古学に関する情報や寄稿、会員通信等をお寄せ下さい。また、連絡紙の愛称や内容、取り上げて欲しいこと、提言などご意見ご要望もお待ちしております。

本会Webサイト(<http://www.m-kouko.net/>)では、本会連絡紙のほか、お寄せいただいた情報を随時掲載いたしております。発掘調査情報、学会、イベントなど考古学に関する情報をお寄せください。

〈連絡先〉古川 一明(連絡紙代表幹事)

E-mail: info@m-kouko.net(宮城県考古学会)

会費の納入お願いいたします

会費は一般会員が4,000円、学生会員が2,000円、夫婦会員が5,000円です。未納の方はお早めにお支払いください。

住所・所属等変更の際は必ずご連絡ください

連絡紙などの郵送の際、居住地不明で戻ってくる方が数名おります。転居や異動で住所等が変更になった会員は、事務局まで必ず連絡をお願いします。

〔会費納入・転居等連絡担当〕宮城県考古学会事務局

連絡先:022-795-6073(fax 兼) E-mail: info@m-kouko.net